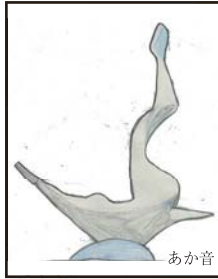


②光明寺



慶長6年(1601)武田の落武者が作った寺といわれる。明治の初め、本堂では二子学舎という学校が開かれていた。境内には岡本かの子の兄、雪之助の墓がある。

①二子神社と岡本かの子文学碑



天照大神を祀っている。参道の入口に常夜灯が立てられている。昭和37年(1962)に岡本かの子の文学碑が作られた。かの子の子、岡本太郎の作品「誇り」である。

天照大神を祀っている。参道の入口に常夜灯が立てられている。昭和37年(1962)に岡本かの子の文学碑が作られた。かの子の子、岡本太郎の作品「誇り」である。

多摩川の動植物

多摩川。山梨県北東部、秩父山地笠取山が水源。全長138km。アユ、フナ、ウグイなどの魚、マガモ、ダイサギ、コミズク等の野鳥、土手では、カラスノエンドウ、ヘラオオバコ、ヒガンバナなどの野草が観察できる。



ダイサギ



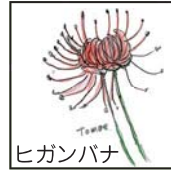
キタテハ



カワウ



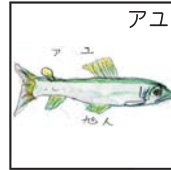
カラスノエンドウ



ヒガンバナ



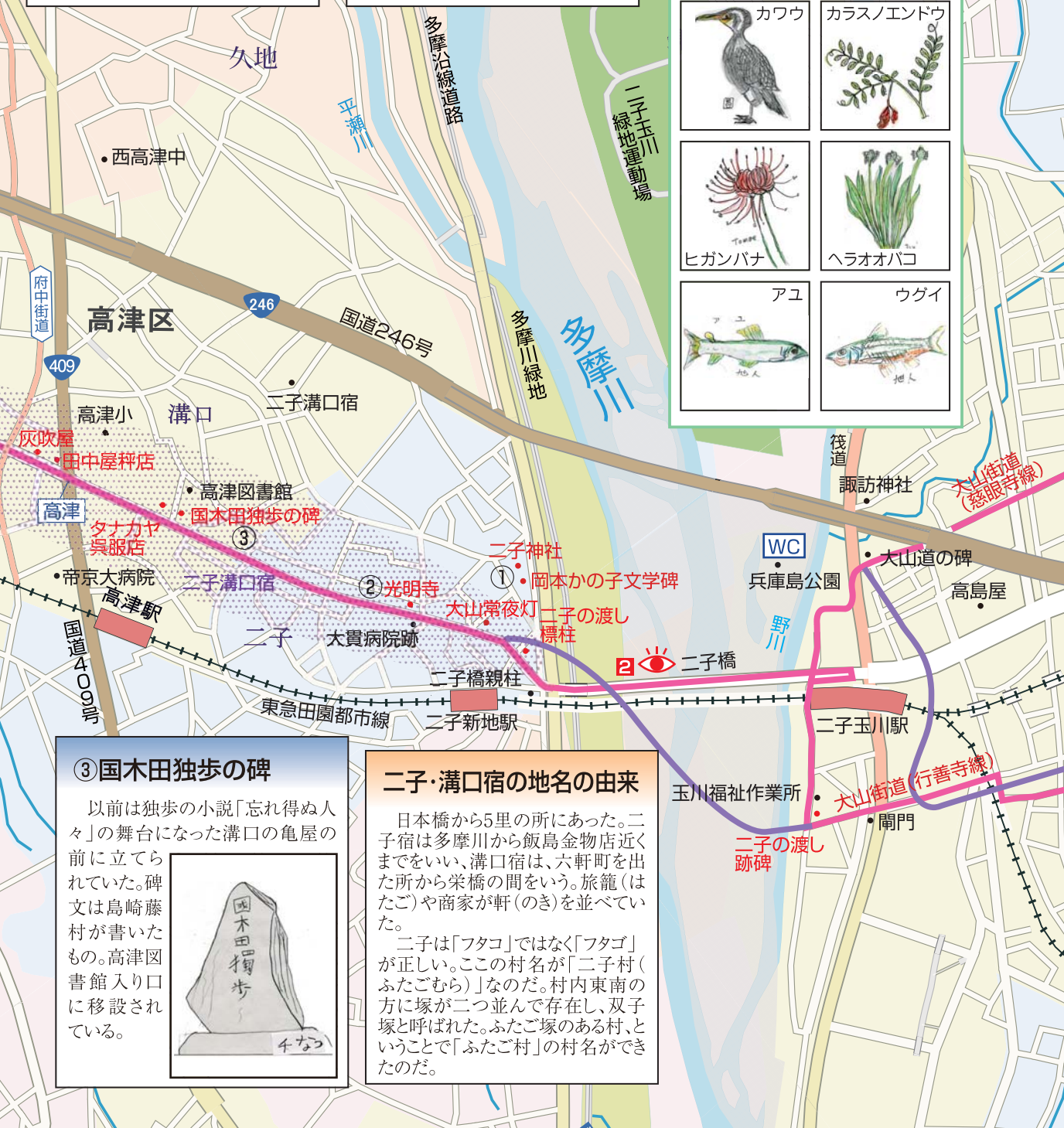
ヘラオオバコ



アユ



ウグイ



③国木田独歩の碑

以前は独歩の小説「忘れ得ぬ人々」の舞台になった溝口の亀屋の前に立てられていた。碑文は島崎藤村が書いたもの。高津図書館入り口に移設されている。



二子・溝口宿の地名の由来

日本橋から5里の所にあった。二子宿は多摩川から飯島金物店近くまでをいい、溝口宿は、六軒町を出た所から柴橋の間をいう。旅籠(はたご)や商家が軒(のき)を並べていた。

二子は「フタコ」ではなく「フタゴ」が正しい。ここの村名が「二子村(ふたごむら)」なのだ。村内東南の方に塚が二つ並んで存在し、双子塚と呼ばれた。ふたご塚のある村、ということことで「ふたご村」の村名ができたのだ。